



大阪府泉佐野市

～三方よしのものづくりで地域貢献を～

えぬえすだぶりゅかぶしがいしゃ

N S W 株式会社

WEB サイト：[https:// idsumi.com/company](https://idsumi.com/company)

参入法人の概要

法人形態：リース法人

代表者名：代表取締役 西出 喜代彦

所在地：大阪府泉佐野市貝田町 2-7-19

設立年次：昭和 27 年 8 月

資本金：2,500 万円

親会社：－

営農形態：露地栽培

主要作物：たまねぎ、水なす、ハーブ

経営面積：30a（うち所有 0a、借入 30a）

主な販売先：自社消費、直販、ふるさと納税

売上額：非公表

従業員：常勤 1 名、非常勤 2 名（農業部門）

●農業に参入した目的を教えてください

N S W 株式会社は、泉州の地場産業であるワイヤーロープ産業を代々営んでいましたが、2011 年頃、四代目社長が就任する際に、廃業か事業転換の窮地に追い込まれていました。打開策を探る中で、泉州が誇る地場農産物に着目し新規事業への参入に踏み切り、地域の特産品として知られる水なすの活用法を模索しながら、事業化に向けて本格的に動き出しました。

その後、ピクルスを製造する中で、雇用維持・原材料確保・事業の多角化等のために自社でも農産物の生産を始めることを決断して、農業経験のある者を採用し、中心となってもらい農業部門をスタートしました。



自社農場での水なす栽培

●当該土地を選んだ理由を教えてください

利便性や本社からの距離、知名度を考慮して泉佐野市内で農地を探していたところ、市から紹介を受け、大阪府みどり公社（農地バンク）を通じて借り受けました。

●当該作物を選んだ理由を教えてください

会社の指針である「自社商品のブランド強化、商品力強化」を念頭におき、地域の特色性や年間栽培サイクル、また人員が限られていることから農地面積に対する作業効率の面も加味して、地域の特産物である水なす、たまねぎ、ハーブを主軸として選定しました。

●参入にあたって栽培技術面等の課題にどのように対応されましたか

栽培技術や知識習得のための現地視察や見学を実施するとともに、大阪府農業大学校で開催されていた「短期プロ農家養成コース」を受講、また、JA が主催する水なすアカデミーに参加するなど、勉強や情報収集を欠かさないようにしています。現在、省力化と効率化のバランスを考慮し、試行錯誤を繰り返しながら取り組んでいるところです。



たまねぎ植え付け様子

●販売先、販路についてはどのように確保されましたか

生産した農産物は、自社製品のピクルスやドレッシングの原材料として使用しているほか、JAが運営する直売所で生鮮野菜・加工品の販売に加え、泉佐野市のふるさと納税の返礼品として出品しています。

さらに、市からふるさと納税返礼品として果物の出品を要請されていることもあり新商品の開発に取り組んでいます。



●農業参入してみて気づいた（参入するまで気づかなかった）のはどのようなことですか

農作物を収穫するタイミングが難しく、収穫量と自社工場での製造に必要な量とのバランスを考慮して、作付する面積の最適化に悩んでいます。環境負荷低減も考えながら、どのように収量を確保するのが課題です。



●地域の方や農業委員会、JA、自治体との関係について気を付けていることがあれば教えてください

新規参入なので、単に作付けをするだけの、いい加減な農業はできないと考えています。

そのため、地域での信頼を得ていく中で、自社製品の原材料として仕入れている生産者の方からの要望もあり、規格外となる野菜も含めて仕入れています。

また、JAからの要望を受け直売所での生鮮野菜・加工品の販売も行っています。

当社として、農業をすることで、より地域に密着した、地に足のついた会社になりたいと考えています。

●今後の経営方針について教えてください

売り手にとっては、規格外になるような野菜が販売でき、買い手にとっては原材料を安く仕入れることができ、フードロスが減らすSDGsの取組にもつながる等「三方よしのものづくり」で地域に貢献できればと考えています。

露地栽培だけでは収穫・農業所得に限度があるので、経営拡大のために規模拡大や施設栽培の取組と併せ、認定農業者となって資金調達をしていきたいと考えています。

●今後、農業参入しようと考えている企業へのメッセージをお願いします

自社ブランドの食品ギフトを扱うメーカーとして、原材料から自分たちで栽培できるのは夢でした。いざ参入し、やはり大変なことも多いですが、作った野菜を美味しいと言ってもらえるのは、他に代えがたい喜びがあります。

その喜びをしっかりと経営に反映できる仕組みづくりを、楽しみながら頑張っているところです。



社長と農業部門担当の方